

企業人派遣講座



2020 年度

講義一覧

一般財団法人

経済広報センター

企業人派遣講座について

経済広報センターは、次代を担う大学生に最新の経済動向や産業の実態などについて、実感をもって理解していただくことを目的に、企業経営者や第一線で働く経営幹部、技術者を講師として大学に派遣する「企業人派遣講座」を開設しています。1986 年度に早稲田大学 国際部（現・国際教養学部）で開始して以来、12 大学で講座を開設し、多彩な企業人が、企業の特徴ある事業や直面している経営課題、技術開発について、最新のトピックスを交えながら、わかりやすく学生たちに語りかけてきました。

2020 年度は、春学期 3 講座についてはコロナ禍により中止を余儀なくされましたが、秋学期は 5 大学（うち 3 大学は同一講義をインターネット相互配信）で 4 講座を開設、合計 50 人の講師を派遣しました。受講した学生は、合計 967 人にのぼります。大学や学生からは、日本経済や企業の実態、技術の最先端に触れることができる貴重な機会であると高い評価を得ています。一方、講師の方々からも、学生に産業や企業について深く理解してもらえる良い機会である、との評価を得ています。

近年、めまぐるしく変化する世界経済の中で、我が国が自立的・持続的な経済成長をしていくためには、イノベーションが継続して産まれる環境作りが必要不可欠となっています。このイノベーション創出のためにも、大学の「知」や次代を担う「人財」と、付加価値の高い製品やサービスを社会に提供し続ける「企業」とが交流し連携することは、非常に大きな意義を有していると考えられます。そのため、産学連携による本講座は、大学と企業とが出会い、産業界で活躍できる人材を育てる場の一つとして、今後も提供してまいります。

一般財団法人 経済広報センター

早稲田大学

商学部

秋学期 木曜日 13:00~14:30 ※オンライン（ライブ配信）

■受講生 早稲田大学商学部・他学部 2年生以上 311名

■コーディネーター 片岡 孝夫／早稲田大学 商学学術院教授

■単位 2単位

変化に対応する日本企業

〔シラバス抜粋〕

今年度は「変化に対応する日本企業」というテーマで開催されます。日本企業をとりまく環境は、少子高齢化、グローバル化の進展、ICT技術の急速な発展、政府の財政状況の悪化、中東・欧州・東アジア等における経済状況の急変などにより大きく変化し、旧来のビジネスモデルは修正を余儀なくされています。この講義では、経済の最前線で活躍されている方々をお招きして、日本企業がこれらの環境変化に対し、どのように対処しているかを直接お話しいたします。

10月1日	ガイダンス	片岡 孝夫	早稲田大学 商学学術院教授
10月8日	ローソンにおける変化対応経営	秦野 芳宏	ローソン 理事執行役員経営戦略本部副本部長
10月15日	リクルートのこれまでとこれから	野口 孝広	リクルート 執行役員（人事・総務担当）
10月22日	ENEOS が考える将来の社会とあるべき姿	布野 敦子	ENEOSホールディングス ESG推進部長
10月29日	変化に対応する日本企業	座間 康	富士フイルム 執行役員（人事・総務担当）
11月5日	変化に対応する日本企業	野崎 明	住友金属鉱山 代表取締役社長
11月12日	Twitter's Public Conversation and Possibilities	笹本 裕	Twitter Inc. Client Solutions 事業担当 副社長兼 Twitter Japan 代表取締役
11月19日	コロナ後の社会変革を見据えたサステナブルな自販機ビジネスモデルの構築	正本 肇	ガイドードリンク コーポレートコミュニケーション部広報・CSRグループマネージャー
11月26日	経済環境の変容と企業の成長戦略	篠塚 寛訓	アマゾンジャパン 人事統括本部人事部部长
12月3日	三菱商事が目指すDXとは何か 「変化に対応する日本企業」	川畑 卓	三菱商事 経営企画部 DX プロジェクト推進室長兼産業DXタスクフォースリーダー
12月10日	社会デザインとIT	花谷 昌弘	エヌ・ティ・ティ・データ 金融事業推進部デジタル戦略推進部部長
12月17日	大阪から世界へ ワールドクラスを目指す成長戦略	山城 紀之	カブコン 総務部長
1月7日	製薬産業を取り巻く環境変化とその中での製品開発	迫 和博	アステラス製薬 コーポレート・アドボカシー部門長
1月14日	高速鉄道の経営 -東海道新幹線、リニア中央新幹線、海外展開	武田 健太郎	東海旅客鉄道 執行役員広報部長
1月21日	理解度の確認（試験）	片岡 孝夫	早稲田大学 商学学術院教授

早稲田大学

基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部

秋学期 月曜日 ※オンライン（オンデマンド配信*講義日より1週間）

■受講生 早稲田大学基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部 1年生以上 321名

■コーディネーター 綾部 広則／早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域教授
 石倉 義博／早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域教授
 白木 里恵子／早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域講師
 馬場 健誠／早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域講師

■単位 2単位

21世紀における科学技術と社会 ～安全・安心のための技術の現状と展望～

〔シラバス抜粋〕

本講座は多くの学生諸君の関心を惹き、社会的にも大いに評価を得てきたことから、2001年度以降も継続して設置されることになり、世界的にも科学技術と社会の関係を問うSTS（Science, Technology, and Society）研究が注目されている状況をふまえて、「21世紀における科学技術と社会」をメインテーマとする科目を開設し、多角的な視点から科学技術のあり方を探求している。

今年度は、「安全・安心のための技術の現状と展望」というテーマとする。安心・安全な社会の実現は科学技術にとどまらず、経済・産業にいたる広範な分野から成り立っており、その裾野の広がりや大きさをゆえに、全体像を俯瞰することは容易ではない。

そこで第一線でご活躍の方々をお招きし、各分野での取り組みをお話いただくことで、その具体像や今後の展望を知る手がかりとする。

9月28日	オリエンテーション	白木 里恵子	早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域講師
10月5日	安全・安心のための技術と展望 ～AI 先端技術を中心に～	谷 幹也	日本電気 研究・開発ユニット上席技術主幹
10月12日	エネルギー環境と石炭について	野口 嘉一	電源開発 火力建設部部長
10月19日	自然災害に対する技術の現状と展望	徳永 博	日本工営 国土保全事業部副事業部長兼砂防部長
10月26日	Yamato Digital Transformation Project ヤマトグループが、つくる、未来。	中林 紀彦	ヤマトホールディングス 執行役員データ戦略担当
11月2日	高速道路の安全・安心のための技術の現状と展望	中井 俊雄	中日本高速道路 執行役員東京支社長
11月9日	医療分野における安心・安全のための最先端技術の 活用状況と今後の展望	神谷 哲央	オブティム 経営企画本部マネジャー
11月16日	クボタの目指すスマート農業	佐々木 真治	クボタ 取締役専務執行役員研究開発本部長
11月23日	Shimiz Smart Site 次世代建築生産システム	印藤 正裕	清水建設 専務執行役員生産技術本部長
11月30日	安全・安心のための技術の現状と展望	金子 勉	古河機械金属 執行役員技術統括本部副本部長兼技術戦略部長
12月7日	安心・安全に向けた凸版印刷の取り組み	菊地 保貴	凸版印刷 執行役員事業開発本部総合研究所長
12月14日	安全を創る！！～航空業界における安全管理～	落合 秀紀	日本航空 広報部担当部長（安全担当）
12月21日	安全安心な水環境に貢献する情報制御システム ～上下水道分野への取り組みを中心として～	田所 秀之	日立製作所 社会制御システム設計部主任技師
1月11日	安心・安全のための技術の現状と展望 ～防災科学技術の新たな取組～	西田 亮三	防災科学技術研究所 企画部部長
1月25日	試験	白木 里恵子	早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域講師

慶應義塾大学
広島市立大学
同志社大学

総合政策学部・環境情報学部共通
全学共通
政策学部

後期 火曜日 14:45～16:15 ※オンライン（ライブ配信）

- 受講生 慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部 1～4年生他 171名
 広島市立大学 1～4年生 111名
 同志社大学政策学部 2～4年生 25名
- コーディネーター 小澤 太郎／慶應義塾大学 総合政策学部教授
 田中 宏和／広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
 前田 香織／広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
 畑本 裕介／同志社大学 政策学部教授
- 単位 2単位

21世紀の企業の挑戦 ～デジタル時代のビジネス戦略～

〔シラバス抜粋〕

この講座は学部学生に対して実社会への窓口となり、学生諸君が自分の将来を考える上で注目度の高い講座となっている。

ブロードバンド時代到来の下での情報通信産業の発展並びに産業全般のIT化の進展は、21世紀の経済面での我が国の国際競争力をかなりの程度決定付けると考えられる。今年度もブロードバンド時代のビジネス戦略に直接携わられ、実践されてこられた方々を講師としてお迎えし、最先端の実務の現状並びに解決すべき課題を分かり易く講義して頂く事とした。

10月13日	ネットワーク、プラットフォーム、コンテンツが交差する 情報通信ビジネスの現状	神野 新	情報通信総合研究所 法制度研究部主席研究員
10月20日	進化するマネーシステム ーデジタルネイティブ世代のビジネスチャンスの見つけ方ー	副島 豊	日本銀行 決済機構局審議役 FinTech センター長
10月27日	サイバーセキュリティ ー激動の時代を生き抜くためにー	松原 実穂子	日本電信電話 チーフ・サイバーセキュリティ・ストラテジスト
11月3日	バイオテクノロジーによる素材革命	菅原 潤一	Spiber 取締役兼執行役
11月10日 (同志社大学発)	個性が輝く企業作り	瀬戸 直人	ウェリントン 代表取締役
11月17日 (同志社大学発)	立命館大学に通う普通の学生が社長兼麻雀プロに なり同地域他業種展開に行き着いたわけ	友添 敏之	友添商店 代表取締役
11月24日 (広島市立大学発)	“あったらいいな”をカタチにする「地域に根差した起業」	牛来 千鶴	ソアラサービス 代表取締役社長
12月1日 (同志社大学発)	変化し続けるシゴトのカタチ	竹村 泰造	京都インシュアランス 代表取締役
12月8日 (広島市立大学発)	地域と歩む中国新聞社のビジネス戦略	山本 慶一郎	中国新聞社 社主兼取締役メディア開発担当営業本部副本部長
12月15日	お客様の立場で考える Amazon のビジネスモデルと戦略 ー継続的に Innovation を起こすために Amazon が実践 していることー	渡部 一文	アマゾンジャパン バイスプレジデント エレクトロニクス&IT ソリューション事 業本部統括事業本部長
12月22日	Society 5.0 ーともに創造する未来ー	小川 尚子	日本経済団体連合会 産業技術本部統括主幹
1月12日	ポストコロナ時代のビジネススタイルの提唱	小柳津 篤	日本マイクロソフト エグゼクティブアドバイザー

東京工業大学

大学院共通

後期 水曜日 16:15～17:55 ※オンライン（ライブ配信）

■受講生 東京工業大学大学院学生 28 名

■コーディネーター 奥野 喜裕／東京工業大学 工学院教授

■単位 2 単位

科学技術特論 ～エネルギー・環境技術の最先端と将来展望～

〔シラバス抜粋〕

全学大学院学生を対象に、産業界の最前線の情報を提供しつつ、グローバルな視点を有する優れた人材を育成することを目的に開講します。日本を代表し、また世界でも活躍されている産業界のトップ、研究開発部門のエキスパートの方々の講義であり、産業界あるいは企業と大学との接点を見出し、それぞれが描く将来展望のすりあわせを図ります。研究開発や教育等で、世界的な活躍が期待される、またそのような意欲に燃えた大学院学生諸君にとって、将来本講義で習得した高度な専門知識が生かされることを期待しています。各講義では、討論の時間を可能な限り多く設け、受講生と講師の対話を大切にします。

10月7日	ガイダンス	奥野 喜裕	東京工業大学 工学院教授
10月14日	エネルギーと気候変動問題	中山 寿美枝	電源開発 審議役
10月21日	自動車業界におけるエネルギー・環境先端技術	久世 理恵	トヨタ自動車 東京技術部担当部長
10月28日	石油を巡る二つの革命	橋爪 吉博	日本エネルギー経済研究所 石油情報センター 事務局長
11月4日	航空業界におけるエネルギー・環境先端技術	萩川 宏樹	JAL エンジニアリング 執行役員エンジン整備センターセンター長
11月11日	発電用ガスタービンの技術開発の現状と展望	正田 淳一郎	三菱パワー 執行役 CoCTO ターボマシナリー本部副本部長
11月18日	浮体式洋上風力発電の現状と課題	佐藤 郁	戸田建設 浮体式洋上風力発電事業部事業部長
12月2日	プラスチック資源循環の現状と将来展望	土本 一郎	プラスチック循環利用協会 専務理事
12月16日	バイオマスエネルギーの高度利用と将来展望	吉村 美毅	鹿島建設 環境本部地球環境室室長
12月23日	鉄鋼業界におけるエネルギー・環境先端技術と地球 温暖化対策	手塚 宏之	J F E スチール 専門主監兼技術企画部地球環境グループリーダー
1月6日	原子力発電の現状及び展望	市川 長佳	東芝エネルギーシステムズ エネルギーシステム技術開発センター技術顧問
1月13日	二酸化炭素の回収・貯留技術の現状と展望	熊谷 司	日揮ホールディングス 事業開発プラットフォーム部長
1月20日	2050 年に向けたエネルギーシナリオと変革の切り口	金田 武司	ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役社長
1月27日	総括	奥野 喜裕	東京工業大学 工学院教授